

【問】 まちの活性化のためには、子育てのしやすいまちづくりが肝要と考えるが、子育て世代の比率を高める施策には、多くの部署が関係している。

【答】 府や泉南地区の研修会などで情報交換したり、

まちづくりの目標

達成に向けた体制づくり

信貴 芳則 議員



子どもたちの未来のために

【問】 まちづくりビジョンの中で、一つの目的を達成するために、どの部署が連携しなければならないのかを明確にしている。

【問】 本市の乳幼児等医療費助成の対象は、入院は中学校卒業まで、通院は小学校就学前までとなっているが、市内において通院に関する、本市より助成範囲の広い市がある。

子どもが等しく

治療を受けられる制度に

桑原 佳一 議員

【答】 計画では、適用年齢のさらなる引き上げに努めるとしており、22年度から通院助成の対象年齢を2歳引き上げるとともに、入院助成については9歳引き上げ、入院とも所得制限を撤廃した。



【問】 以前の市民健診では、血液検査だけでも14項目あり、「メタボ」をチェックするだけではなかった。他の病気の発見にもつながるよう、検査項目を増やすことができないか。

【問】 平成20年から始まった特定健診の受診率は、5年が経過しても目標である65%から大きくかけ離れ、25%前後のままである。

【問】 以前の市民健診では、血液検査だけでも14項目あり、「メタボ」をチェックするだけではなかった。他の病気の発見にもつながるよう、検査項目を増やすことができないか。



他の検診とセットで受診も

伸び悩む受診率

市民が求める健診とは

岸田 厚 議員

【問】 平成20年から始まった特定健診の受診率は、5年が経過しても目標である65%から大きくかけ離れ、25%前後のままである。

【問】 以前の市民健診では、血液検査だけでも14項目あり、「メタボ」をチェックするだけではなかった。他の病気の発見にもつながるよう、検査項目を増やすことができないか。

5人の議員による

一般質問 その2

市の最重要拠点

将来も見据え熟考を

その他の質問
○岸和田市の産業
○指定管理者制度

京西 且哲 議員

【問】 平成9年に実施された市庁舎の耐震診断から16年が経過し、ようやく建て替えの検討が始まり、本年5月に報告書がまとまった。建設場所は、3カ所の市有地だけを対象に調査し、福祉総合センター等敷地を

【問】 平成9年に実施された市庁舎の耐震診断から16年が経過し、ようやく建て替えの検討が始まり、本年5月に報告書がまとまった。建設場所は、3カ所の市有地だけを対象に調査し、福祉総合センター等敷地を



【問】 平成9年に実施された市庁舎の耐震診断から16年が経過し、ようやく建て替えの検討が始まり、本年5月に報告書がまとまった。建設場所は、3カ所の市有地だけを対象に調査し、福祉総合センター等敷地を

